きぼう

明石市立大久保北中学校　第２学年
学年通信　第６５号(165)
令和元年１１月１９日（火）

「人間独り立たず」まわりの自然や多くの人々に支えられて今日あることに感謝しよう。
学校ホームページ URL：http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~jr_okbn/

目前の目標から確実にやりになそう！

～ 自分をしっかりと見つめる ～

“やる気”を呼び起こそう！

◎ やる気は『**目**』に表れる >>>>>>>>>>>>>>>>> 輝いた目を
◎ やる気は『**背筋**』に表れる >>>>>>>>>>>>>>>>> 伸びた背筋を
◎ やる気は『**行動力**』に表れる >>>>>>>>>>>>>>>>> 自ら行動を

何をするにも“やる気”は大事です。同じことをするにしても、「しんどいな」思う気持ちでするのと、「さあ、やるぞ！」と前向きな気持ちでするのとでは大変な違いがあります。この“やる気”をいかにして呼び起こすか、自分なりの方法を持ちたいものです。“やる気”が起こってくると、何をしてもいい循環になってくるものです。そうなると目標の達成もしっかりとできるようになってきます。その土台となるのはやはり「日常生活の安定」だと思います。

集中は理解への近道

よく「集中力がある」とか「集中力がない」とか言われますね。貴方はどうでしょうか。この“集中力”が持続すれば、大抵のことは理解できるものです。授業は５０分間、朝読書は１０分間、ＳＨＲは１０分間、掃除は１５分間と、１日の中で、本気で集中すれば、かなりの力が身についていく場面がたくさんあります。いつ集中してやればいいのか、その場面を理解し、集中できる態度をとれるようにしていくことが大切です。昨日の自分より今日の自分が、たとえ少しでも、成長したと言えるようにしたいものです。

『聴く力』をつける…「聞く」ではなく『聴く』

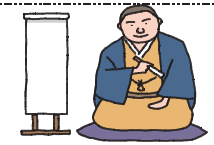
話を聴くとき、みんなはどんな心構えで聴いているのでしょう。授業の中でも、説明を受けて、いざ自分でやってみようとするとき、聴けていないのかできない場面をよく目にします。また、説明したあとから「何するの？」と言ってくる人がいます。よそ事を考えていたり、私語をしていたり…と、『聴く』ということに対して少しおろそかになっているのではないでしょうか。集会のときなどでもこのことを感じます。**『聴く』は耳と目と心でもって聴く**ということ。「聞く」とは意味合いが違います。話を聴くにもやはり力（集中力）が必要です。「**聴いて分かる**」ことが大切です。『**聴く力**』がアップすれば学力はもちろん、君の持っている様々な力が伸びていくはずです。これから３年生を迎えるに当たって、大事な部分がしっかりと聴けて理解できるように、『**聴く力**』のアップを意識してほしいと思います。

期末テストに全力を・・・勉強の成果を試せ!!

期末テストが来週に迫ってきました。範囲と時間割も発表されましたので、この先のテスト勉強の計画を立てて実行していきましょう。中学校でのテストも回数を重ね、もう自分の勉強スタイルを持っていることと思います。普段の授業や家庭学習の大切さは十分わかっていることでしょう。スポーツの練習と同じで、勉強も日々の積み重ねがとても大切です。来年のためにも、今がんばるときです。テストでもベスト記録更新を目指して、最後までしっかりとやり抜いてください。伸びるポイントは、**日々の授業への集中と家庭での復習**です。しっかりと習慣付けたいものです。テストの日の午後からの時間をどう使うべきかはもう分かり切ったことです。普段は遊びや部活動の練習に費やしている人も、この時ばかりは勉強に打ち込み、**遊びの誘惑に負けない強い意志**を発揮してほしいと思います。今の努力が、来年の自分をつくる・・・。

継続こそ力なり!!　努力無き者　成果無し!!

人権教育講演会　感想文



◆障がいがあると、障がいない人は一線を引きたいとか、あまり関わりたくないと思う人がほとんどではないかと思う。でも、それはその人のことを知ってからで、「人を知る」ことが大切だし、知ろうとすることが大切なんだと思った。

◆障がいのある人でも何かしら人の役に立つと聞いて、自分も人の役に立てるような人間になりたいと思いました。そして、目が見えなかったり、耳が聞こえない人、不自由な方は1人では生きていけないので周りの人が困っていたら助けてあげるという当たり前のように支えられたいいなと思いました。また、生まれつき障がいのある人でも自分のできること、したいことができるのはいいことだと思いました。「どんな時も笑うことは大切。」ということを忘れずすごしていきたいです。そして、今日、学んだ障がい者への接し方を忘れずこれから生活していきたいです。

★★毎学終了★★　～１１月１８日（月）

１４冊目…　１３冊目…
７冊目…
３冊目…
２冊目…